

目標達成計画

作成日：平成27年3月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		本事業所として最後の看取りまで元気に過ごすということで、今まで階段の上り下りで生活していましたが、身体的機能が低下していく中で入居者にとって大変な負担となっている。	入居者の安全性と負担軽減のために昇降機を取り付ける。	元気な入居者は階段を利用して下肢筋力のリハビリを行います。状態が悪くなられた入居者には昇降機を利用する。	0か月済
2	17	身体的機能低下の中で、入浴時の安全性を確保する必要性を感じる。	体位が保てない方のために、安全を保てるシャワーキャリーを考える。	入居者が入浴する際に、リクライニングができるシャワーキャリーを使って安全に入浴してもらうことができる。	0か月済
3		入居者宛の手紙やプレゼントが送られてきたときの入居者から相手への返信がなかなかできていなかった。	送られた方への気持ちを考え、入居者とともに返信したり、相手との心のつながりを持つことにより入居者の心の安らぎをもつ。	お誕生日のお祝いや母の日などに、送られた方へ返信を心掛けたい。	3か月
4	49 (18)	日常的な外出支援について、身体的機能低下の中で、比較的軽い方の外出支援の回数が少ない。	個別対応の外出支援 年間行事だけでなく日常的な外出を行う。	近隣のコンビニ、スーパー等への買い物同行、公園への散歩等を担当者を中心に実行する。現行の回数を増やす。(一人の入居者に対してスタッフ一名を担当と決めてケアにあたっている。)	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。